

HOUSE REGULATIONS

ご利用規則

当ホテルでは、お客様に安全かつ快適にご滞在いただくため、宿泊約款第10条に基づき、次の通り利用規則をさだめておりますのでご協力くださいますようお願い申し上げます。お守りいただけない場合は約款第7条及び18条によりやむを得ずご宿泊またはホテル内の諸施設のご利用をお断り申し上げます。かつ責任をおとりいただくこともございますので特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

<火災予防上お守りいただきたい事項>

1. 客室内では暖房用、炊事用などの火器等を持ち込みご使用なさらさないで下さい。
2. 火災の原因となりやすい場所（特にベッド内）でご喫煙なさらさないで下さい。
3. その他火災の原因になるような行為をなさらさないで下さい。

<保安上お守りいただきたい事項>

1. ご滞在中お部屋から出られる時は、ドア及び窓の施錠をご確認下さい。
2. ご滞在中や特にご就寝の時はドアの内鍵、ドアガードをお掛け下さい。来訪客があった時は不用意に開扉なさらずご確認下さい。万一不審者と思われる場合は、直ぐにフロントへご連絡下さい。
3. 午後10時以降ご訪問客と客室内でのご面会をご遠慮願います。
4. 宿泊登録者以外のご宿泊は、堅くお断りします。

<貴重品、お預かり品のお取り扱いについて>

1. 現金、その他の貴重品は、必ず客室内セーフティボックスへお預け下さい。客室内での貴重品の事故に関しましては、責任は負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
2. 遺失物は、法令に基づいて処理させていただきます。（遺失物法9条関係）
3. お預物の保管期間は、原則として下記のとおりとさせていただきます。フロントでのお預り物 7日間

<お支払いについて>

1. 料金のお支払いは、通貨又は当ホテルが認めたクレジットカードにより、5日毎にお支払いいただけます。但し、5日間以内でも100,000円を越えた場合もしくはホテルから請求のあった場合は、フロントでご精算願います。
2. ホテル内のレストランなどをご署名によってご利用される場合は、必ず客室の鍵をご提示下さい。
3. 都合によりご到着時にお預かり金を申し受けることがございますのでご了承下さい。
4. 小切手でのお支払い及び両替には応じかねますのでご了承下さい。
5. ホテル内売店のお買い物代、航空券、列車バスの切符代、タクシー代、郵便切手代、お荷物運送等のお立替は、お断りさせていただきます。

<おやめいただきたい行為>

1. ホテルに他のお客様の迷惑になる様なものをお持ち込みにならないで下さい。犬、猫、小鳥、その他の動物、発火または引火性のもの、悪臭を発生するもの、その他法令で所持を禁じられているものを持ち込まないで下さい。
2. ホテル内で賭博や風紀、治安を乱すような行為、他のお客様の迷惑になる様な言動はなさらさないで下さい。
3. ホテル内の施設、備品を所定の場所、用途以外にご使用にならないで下さい。施設、備品の現状を変更してご利用なさらさないで下さい。
4. 当ホテルの許可なく客室を営業行為など宿泊以外の目的にご使用にならないで下さい。
5. ホテル内の外観を損なう様なものを窓側に陳列しないで下さい。
6. ホテルで許可なく広告、宣言物を配布したり、物品の販売をしないで下さい。
7. 廊下やロビーなどに所持品を放置なさらさないで下さい。
8. ホテル以外より飲食物の出前をおとりにならないで下さい。
9. 未成年者のみのご宿泊は、特に保護者の許可のない限り、お断りさせていただきます。
10. 不可抗力以外の事由により建造物、備品、その他の物品を損傷、汚染、或いは紛失させた場合は、相当額を弁償させていただきます。
11. 廊下やロビーでの歩行中の喫煙はご遠慮下さい。

Under Article 10 of the "Terms and Conditions for Accommodation Contracts," this hotel has established House Regulations which all guests are required to observe in order to ensure the safety and comfort of hotel guests. If guests fail to comply with these regulations, the hotel reserves the right to discontinue the accommodation contract and to refuse use of hotel facilities. Moreover, the hotel reserves the right to require guests to compensate for loss and/or damages sustained by the hotel in accordance with Article 7 and 18 of said contract.

<Fire Precautions>

1. No heat source may be used in guest rooms for heating or cooking.
2. Smoking in bed or other places where fire is apt to occur is prohibited.
3. Any other act that may cause a fire is also prohibited.

<Security Measures>

1. Be sure to lock the door and window when leaving the room during your stay.
2. Lock the door and use the door-chain when retiring to the room. Never open the door before identifying a visitor. If a visitor is deemed suspicious, immediately contact the front desk.
3. Visitors are not permitted in guest rooms after 10:00 p.m.
4. Guests who are not registered are not allowed to stay at the hotel.

<Valuables and Checked Articles>

1. Money and valuables must be deposited in the safety box in the room for safekeeping. The management is not responsible for loss of or damage to valuable items left in the guest's room.
2. Abandoned articles will be disposed of in accordance with government regulations.
3. Duration of storage of guest baggage/belongings at the front desk will be 7 days.

<Payment>

1. Payment of hotel charges are to be made at the front desk in cash (or by credit card recognized by the hotel) every 5 days, or whenever hotel charges exceed ¥100,000 or when specifically requested by the hotel.
2. When signing restaurant checks for charging to hotel bills, the room key must be presented.
3. Under certain circumstances the hotel may request that the guest pay a deposit for hotel charges by check be accepted.
4. The hotel will not cash checks, nor will payment of hotel charges by check be accepted.
5. The hotel will not make payment on behalf of guests for such expenses as shopping charges, tickets, taxi, fares, postage, or porter charges.

<Prohibited Acts>

1. Guests may not bring onto hotel premises items that may be of nuisance to hotel guests (such as dogs, cats, birds, or other animals) inflammable items, explosives, noxious-smelling items, or any illegal articles.
2. Guests may not gamble, behave in a manner contrary to public morals or public order, or annoy other hotel guests.
3. Guests may not rearrange or move furniture and fixtures from their set positions or use any such item in a manner other than that for which it was designed.
4. Guests may not use rooms for commercial activities or for purposes other than accommodation, without the approval of the hotel.
5. Guests may not display articles near the window in a way that may affect the appearance of the hotel.
6. Guests may not distribute advertising materials or sell goods on the hotel premises without approval.
7. Personal belongings may not be left in the lobby or in hallways.
8. Meals or drink may not be brought in from establishments outside the hotel.
9. Minors are not permitted to stay at the hotel without parental or guardian consent.
10. The management reserves the right to hold guests responsible for damage, contamination, or loss caused to any part of the building, its furniture, or fixtures, except in cases attributable to force majeure causes.
11. Please refrain from smoking in the lobby or corridors.

宿泊約款

(適用範囲)

- 第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申し込み)

- 第2条 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- 宿泊者名
 - 宿泊日及び到着予定事項
 - 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による）
 - その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が宿泊中に前項第2号の宿泊日を越えて継続を申し入れた場合当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

- 第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾しなかったことを証明したときはこの限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を越えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までに お支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払い期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限りします。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

- 第4条 前第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込み金の支払い期日を指定しなかった場合は、全項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

- 第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
 - 満室により客室の余裕がないとき。
 - 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - 施設の管理運営上の必要から利用制限を行う場合。
 - 宿泊しようとする者が泥酔者等で、他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあるとき、及び宿泊者が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。（都道府県条例の規定にもとづく）

(宿泊客の契約解除権)

- 第6条 宿泊客は当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は、一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いにより前に宿泊約款を解除した時を除きます）は別表に掲げるところにより違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について当ホテルが宿泊客に告知したときに限りします。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の20:00（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着したいときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。
4. 前項の規定により解除されたものとみなした場合において、宿泊客がその連絡をしないで到着しなかったことが、列車、航空機等、公共機関の不着又は遅延その他宿泊者の責に帰さないものであることを証明したときは、第2項の違約金はいただきません。

(当ホテルの契約解除権)

- 第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
- 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められたとき、又同行為をしたと認められるとき。
 - 宿泊客が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められるとき。
 - 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - 宿泊しようとする者が泥酔者等で、他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき（都道府県条例の規定にもとづく）
 - 寝室での寝たばこ、消防設備などに対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る）に従わないとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

- 第8条 宿泊客は、宿泊当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - 出発日及び出発予定時刻
 - その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第12条の支払いをクレジットカード等、通貨に代わり得る方法により行おうとするときはあらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

- 第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、15:00 から 11:00 までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- 13:00 迄 3,300 円（税別）

(利用規則の遵守)

- 第10条 宿泊客は当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

宿泊約款

(営業時間)

第11条 当ホテルの主な設備等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクターでご案内いたします。

- フロントサービス時間
8:00~11:00 15:00 ~ 22:00
- 門限
24:00
- 飲食等（設備）サービス時間
イ) レストラン綺羅（本館ロビー階）
7:00 ~ 10:00 17:30 ~ 22:00
- 浴場
イ) 潮望の湯 和煦和煦（本館3階）
5:00 ~ 翌 1:00
ロ) 展望浴場 天穹の湯（本館屋上）
15:00 ~ 0:00 6:00 ~ 11:00
- 娯楽施設
イ) カラオケコーナー（本館3階）
11:00 ~ 24:00
ロ) 麻雀ルーム（南館2階）
24時間営業

2. 前項の時間は、やむを得ず臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

- 前項の宿泊料金の支払いは、通貨又は当ホテルが認めたクレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテル責任)

第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行にあたり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただしそれが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものではないときは、この限りではありません。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第14条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得ることができるかぎり同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(営業時間)

第15条 宿泊客が客室内貴重品入れに預けた物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。

- 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であって、客室内貴重品入れにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡しします。

- 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携行品が当ホテルに置き去られていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含めて7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
- 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第2項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第18条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは当該宿泊客は当ホテルに対して、その損害を賠償していただきます。

【別表第1】 宿泊料金の内訳（第2条第1項、第12条第1項関係）

		内容
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	1. 基本宿泊料（室料）
	追加料金	1. 飲食料
	税金	a. 消費税 b. 入湯税

備考1. 基本料金はフロントに掲示する料金によります。

【別表第2】 違約金（第6条第2項関係）

利用開始予定日の

- | | |
|-----------------------|---------------|
| (1) 8日前までに取消した場合 | 無料 |
| (2) 7日前から4日前までに取消した場合 | 料金の30%（1名当り） |
| (3) 3日前から2日前までに取消した場合 | 料金の50%（1名当り） |
| (4) 前日に取消した場合 | 料金の80%（1名当り） |
| (5) 当日に取消した場合 | 料金の100%（1名当り） |

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

Article 1: Scope of Application

- 1-1 Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided for herein shall be governed by applicable laws and regulations and/or generally accepted practices.
- 1-2 In the event that the Hotel has entered into a special contract with the Guest, then insofar as such special contract does not violate applicable laws and regulations and generally accepted practices, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions, notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph.

Article 2: Application for Accommodation Contracts

- 2-1 A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
- (1) Name of the Guest(s);
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3) Accommodation Charge (based in principle on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1);
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- 2-2 In the event that the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Article 3: Conclusion of Accommodation Contracts, etc.

- 3-1 A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it can be proven that the Hotel has not accepted the application.
- 3-2 When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (but only in an amount corresponding to 3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
- 3-3 The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then for cancellation charges under Article 6, and then for damages under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
- 3-4 When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, this provision shall apply only in the case where the Guest is informed by the Hotel of the termination of the specified period of payment.

Article 4: Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

- 4-1 Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
- 4-2 In the event the Hotel has not requested the payment of the deposit stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as though the Hotel has accepted a special contract as set forth in the preceding Paragraph.

Article 5: Refusal of Accommodation Contracts

- 5-1 The Hotel may refuse to accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following circumstances:
- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
 - (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
 - (3) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
 - (4) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene applicable laws or disrupt public order or morals in connection with his accommodation;
 - (5) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation;
 - (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of facilities, and/or other unavoidable causes;
 - (7) When the Hotel needs to restrict its acceptance of guests for reasons of operational management;
 - (8) When the Guest is deemed liable to conduct and/or to have conducted himself in a manner that will disturb other guests, such as with significant intoxication (Prefectural Ordinance applicable).

Article 6: Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest

- 6-1 The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
- 6-2 In the event that the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes attributable to the Guest (except in cases when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the event that a special contract as described in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, this provision shall apply only if the Guest has been informed of the obligation of payment of cancellation charges in the event of cancellation by the Guest.
- 6-3 In the event that the Guest does not appear by 8:00 p.m. on the accommodation date (or 2 hours after the expected time of arrival in cases in which the Hotel is notified thereof) without advance notice, the Hotel may deem the Accommodation Contract cancelled by the Guest.
- 6-4 When a reservation has been deemed cancelled in accordance with the previous Paragraph, the Hotel will not require payment of the cancellation charge if the Guest is able to prove that his failure to appear or notify the Hotel was due to the delay or non-arrival of a train, airplane, or other public conveyance and not to any cause attributable to him.

Article 7: Right to Cancel Accommodation by the Hotel

- 7-1 The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following circumstances:
- (1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or to have conducted himself in contravention of applicable laws, public order, or acceptable moral behavior in connection with his accommodation;
 - (2) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease;
 - (3) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation;
 - (4) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other force majeure causes;
 - (5) When the Guest is deemed liable to conduct and/or to have conducted himself in a manner that will disturb other guests, such as with significant intoxication (Prefectural Ordinance applicable);
 - (6) When the Guest performs prohibited actions such as smoking in bed, tampering with fire-fighting facilities, or other prohibitions of the House Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid fire).
- 7-2 In the event that the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any subsequent services that he does not receive during the remainder of the contractual period.

Article 8: Registration

- 8-1 The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation:
- (1) Name, age, sex, address, and occupation of the Guest(s);
 - (2) For non-Japanese: nationality, passport number, port and date of entry in Japan;
 - (3) Date and estimated time of departure;
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- 8-2 In the event the Guest intends to pay the Accommodation Charge prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as by credit card, these means shall be presented in advance at the time of registration set forth in the preceding Paragraph.

Article 9: Occupancy Hours of Guest Rooms

- 9-1 The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3:00 p.m. until 11:00 a.m. the next day. However, in the case of continued accommodation, the Guest may occupy the room all day long, except for the days of arrival and departure.
- 9-2 The Hotel may, notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
- (1) Until 1:00p. m. :3, 300yen

Article 10: Observance of House Regulations

- 10-1 The Guest shall observe the House Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

Article 11: Business Hours

11-1 The business hours of the main facilities of the Hotel are as follows (those of other facilities shall be indicated in detail by brochures to be provided, notices displayed in the respective areas, service directories in Guest rooms, and elsewhere):

- (1) Front desk service hours: 8:00 a.m. - 11:00 a.m. / 3:00 p.m. - 10:00 p.m.
- (2) Main entrance closing time: Midnight
- (3) Service hours for dining and drinking
 - a) Restaurant Kira (lobby floor)
 - 7:00 a.m. - 10:00 a.m.
 - 5:30 p.m. - 10:00 p.m.
- (4) Spa
 - a) Grand Spa Waku-Waku (3rd floor of main building)
 - 5:00 a.m. - 1:00 a.m.
 - b) Roof Spa Tenkyu-no-yu (Roof of main building)
 - 6:00 a.m. - 11:00 a.m.
 - 3:00 p.m. - Midnight
- (5) Recreational Facilities
 - a) Karaoke (3rd floor of main building)
 - 11:00 a.m. - Midnight
 - b) Mah-jongg Room (2nd floor of south building)
 - Available 24 hours a day

11-2 The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes. In such cases, the Guest shall be appropriately informed.

Article 12: Payment of Accommodation Charges

- 12-1 A breakdown of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is listed in the Attached Table No.1.
- 12-2 The Accommodation Charge, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by means other than Japanese currency, such as credit cards recognized by the Hotel, at the front desk at the time of departure of the Guest or upon request by the Hotel.
- 12-3 Accommodation Charges shall be paid even if the Guest chooses not to utilize the accommodation facilities provided by the Hotel at his disposal.

Article 13: Liabilities of the Hotel

13-1 The Hotel shall compensate the Guest in the event the Hotel has caused damage to the Guest in the fulfillment or the non-fulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, this provision shall not apply in the event that the cause of such damage is not attributable to the Hotel.

Article 14: Handling When Unable to Provide Contracted Rooms

- 14-1 The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable, with the consent of the Guest.
- 14-2 When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges. However, notwithstanding the foregoing, in the event the Hotel cannot provide accommodation due to causes not attributable to the Hotel, the Hotel shall not so compensate the Guest.

Article 15: Handling of Deposited Articles

- 15-1 The Hotel shall compensate the Guest for damage when loss, breakage, or other damage is caused to goods, cash, or valuables deposited by the Guest in the safety box placed in the guest room, except in cases attributable to force majeure causes.
- 15-2 The Hotel shall compensate the Guest in the event loss, breakage, or other damage is caused intentionally or through negligence on the part of the Hotel to the goods, cash, or valuables brought onto the premises of the Hotel by the Guest but which are not deposited in the safety box. However, in the event the kind and value of articles in question have not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest only to a maximum of 150,000 yen.

Article 16: Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest

- 16-1 In the event that the Guest's baggage is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be responsible for holding said baggage, provided that the Hotel has accepted the Guest's request to do so. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.
- 16-2 When the baggage or belongings of the Guest are found to have been left behind after his check-out, and ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article and ask for further instructions. When no instructions are given to the Hotel by the owner or when ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days (including the day it was found), and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
- 16-3 The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and in accordance with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

Article 17: Liability in Regard to Parking

17-1 The Hotel shall not be liable for the custody of Guest's vehicle when the Guest utilizes the parking lot on the premises of the Hotel, as it shall be deemed that the Hotel has simply offered the space for parking, whether or not the vehicle's key has been deposited with the Hotel. However, the Hotel shall compensate the Guest for any damage caused intentionally or through negligence on the part of the Hotel in connection with the management of the parking lot.

Article 18: Liability of the Guest

18-1 The Guest shall compensate the Hotel for any damage caused intentionally or through negligence on the part of the Guest.

Attached Table No. 1 Breakdown of Accommodation Charges
(Refer to Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

		Contents
Total amount to be paid by the guest	Accommodation charges	(1) Basic accommodation charge (room charge)
	Extra charges	(2) Meals & drinks
	Taxes	a. Consumption tax b. Spa tax

1. Basic Accommodation Charge is based on the tariffs posted at the front desk of the Hotel.

Attached Table No. 2 Cancellation Charge for Hotels
(Refer to Paragraph 2 of Article 6)